

はじめに



かど かわ だい せき
京都市長 門川 大作

「すまい」という言葉から、皆さんはどんなことを思い浮かべられるでしょうか？

私がまず思い浮かべるのは、そこに暮らす家族の笑顔。そして共に地域に住まう御近所さん同士が交わす笑顔。まさに「すまいる」です。

たくさんの素敵な笑顔に満ちて、家族、御近所さんなど、人と人がしっかりとつながりながら住まい、更に次の世代、次に住む人に、良質な暮らしを脈々とつないでいく。

この度策定致しました新たな「住宅マスタープラン」は、そんな京都らしいすまいやまちを未来に引き継ぐために、「人がつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・まちづくり」という目標を掲げました。

京都は、千二百年にわたって、山紫水明の自然と共生しながら、京都ならではの町並みや豊かな地域コミュニティなど、「すまい」をめぐる独自の文化を洗練してきました。本プランでは、その誇るべき文化を踏まえ、京都らしいすまいやまちを守り、育て、次代に引き継ぐ「住み継ぐ」、災害に備えすまいやまちの安全性を高める「そなえる」、そして安心できるすまいやまちをみんなで実現する「支え合う」をキーワードに、これからの住宅政策を進めることとしています。

本プランに基づく京都らしいすまい・まちづくりの取組は、環境にやさしいライフスタイルの実現につながり、世界的な環境問題の解決にも資すると考えています。市民、事業者の皆様と共に汗しながら、京都ならではの取組を進め、暮らしの豊かさを実感できる、持続可能で良質なすまい・まちを実現して参りたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、策定に多大の御協力をいただきました京都市住宅審議会の皆様、多くの貴重な御意見をいただきました市民の皆様に、心から感謝申し上げます。